



平成 23 年度

警察官 A 採用候補者試験（平成 24 年 4 月採用・2 回目）

受験案内

第 1 次試験日 9 月 17 日（土）・18 日（日）

受付期間 8 月 1 日（月）～ 8 月 31 日（水）

三重県人事委員会

平成 23 年 7 月 8 日

1 試験区分及び採用予定数

試験区分		採用予定数
警察官 A	男性	約 20 名
	女性	約 3 名

※1 採用は、平成 24 年 4 月 1 日の予定です。

※2 この試験の申込みは、この試験と同日程で実施する警察官 B 採用候補者試験の申込みと重複して行うことはできません。

2 職務内容

個人の生命、身体及び財産の保護、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締りその他公共の安全と秩序の維持に関する業務に従事します。

3 受験資格

試験区分	生年月日及び性別	学歴
警察官 A	男性 昭和 54 年 4 月 2 日以降に生まれた男性	(1) 学校教育法に基づく大学（短期大学を除く。）を卒業した人及び平成 24 年 3 月 31 日までに大学を卒業する見込みの人 (2) 三重県人事委員会が(1)に掲げる人と同等の資格があると認めた人
	女性 昭和 54 年 4 月 2 日以降に生まれた女性	

ただし、次の各号のいずれかに該当する人は、受験することができません。

- (1) 日本の国籍を有しない人
- (2) 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
- (3) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- (4) 三重県職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から 2 年を経過しない人
- (5) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

4 試験日時、会場及び合格者発表

区分	日 時	会 場	合 格 者 発 表
第1次試験	(第1日目) 平成23年9月17日(土) 体力試験 I		第1次試験合格者発表 平成23年10月12日(水) (予定) 県庁玄関掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、合格者には文書で通知します。また、インターネットでも確認できます。
	※ 受験票でいずれかの時間を指定します。(変更不可)		
	第 1 班 9:00～10:30	三重県鳥居会館(体育館) (津市鳥居町100)	
	第 2 班 10:30～12:00		
第 3 班 13:30～15:00			
第 4 班 15:00～16:30			
第2次試験	(第2日目) 平成23年9月18日(日)		最終合格者発表 平成23年11月30日(水) (予定) 県庁玄関掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、第2次試験受験者全員に合否の結果を文書で通知します。また、インターネットでも確認できます。
	9:00 注意事項説明等 9:30 教養試験(150分) 12:00 終了予定	県立津工業高等学校 (津市半田534)	
	(第1日目) 平成23年10月27日(木)(終日)	三重県警察本部 (津市栄町1-100)	
第2次試験	(第2日目) 平成23年11月10日(木)から14日(月) のうちいずれか指定する日(午前又は午後の半日)	三重県吉田山会館 (津市栄町1-891、 三重県庁前)	
	※日程は予定であり、変更する場合があります。詳細は第1次試験合格者に文書で通知します。		

5 試験の方法

試験種目	配点<点> ()内は基準点	内 容
第1次試験	教養試験 100 (32)	警察官として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験(大学卒業程度)を行います。(50題 150分)
	体力試験 I 25(※1)	通常の職務遂行に必要な体力について別表1の基準により試験を行います。
第2次試験	論文試験 20 (12)	総合的な判断力・思考力・表現力等の能力についての記述式による筆記試験を行います。(60分)
	人物試験 170 (※2)	人柄、性格等についての個別面接及び集団討論による試験を行います。
	体力試験 II 25(※1)	通常の職務遂行に必要な体力について別表1の基準により試験を行います。
	適性検査 配点なし (適否のみ判定)	通常の職務遂行に必要な適性について検査します。
	身体検査 配点なし (適否のみ判定)	別表2の基準による身体検査を行うとともに医療機関等において検査した診断書の提出を求めます。

①合格者は、試験区分ごとに合計点数の高い者から順に採用予定数を勘案して決定されます。

②得点化を行う試験種目においては、最低限必要な得点を「基準点」として個別に定めており、基準点に達しない試験種目がひとつでも存在する受験者は、他の試験種目の成績にかかわらず原則として不合格となります。

(基準点は概ねの基準であり、採用予定数確保のため、試験区分ごとに変更する場合があります。)

※1 基準については、別表1以下を参照してください。

※2 6段階で評定し、上位5段階に評定されること。(評定結果に応じて、配点されます。)

6 受験手続

申込書 提出先	三重県人事委員会事務局 〒514 - 0004 津市栄町1丁目 891 (三重県勤労者福祉会館4階)	
申込方法	次のうち、いずれかの方法で申し込んでください。	
	郵送・持参	インターネット
	「申込書」に必要事項を記入のうえ、提出してください。 (右記のホームページからダウンロードした「申込書」(A4判の白紙に黒色で印刷)を使って提出することもできます。) ○郵送の場合 …申込書を角形2号(33cm×24cm程度の大きさ)の封筒に入れ、封筒の表に 警察官A(4月採用・2回目)受験と朱書 し、必ず 簡易書留郵便 で送付してください。	下記のホームページより、申し込んでください。 ○三重県職員採用案内ホームページ http://www.pref.mie.lg.jp/saiyo *画面上の注意事項をよく確認のうえ、入力してください。 「到達番号」 が発行されますので、お手元に受験票が届くまで、この番号を必ず控えておいてください。申込状況の確認や問い合わせ等に必要となることがあります。
受付期間 及び時間	平成23年8月1日(月)～8月31日(水) (消印有効) 午前8時30分～午後5時15分(ただし、土曜日及び日曜日は除きます。)	平成23年8月1日(月)～8月31日(水) (8月31日(水) 正午 までに県サーバーへ到着したものまでを有効とします。)
申込み 完了	受付済みの受験票が郵送にて到着することにより、申込みが完了となります。1週間程度経過しても受験票が到着しない場合は、三重県人事委員会事務局まで問い合わせてください。	
申込みに係 る共通事項	(1) 申込みの際は、写真は不要です。(ただし、後日、人事委員会事務局から受験票が届きましたら、 <u>写真(6ヶ月以内に撮影したもの、脱帽正面上半身、縦4cm・横3cm)</u> を貼り、試験当日持参してください。 (2) この試験の申込みは、この試験と同日程で実施する警察官B採用候補者試験の申込みと重複して行うことはできません。	

◎ 受験資格等の確認について

受験資格の有無、申込書記載事項等の真否について確認を行います。

なお、記載事項に虚偽があると、職員として採用される資格を失う場合があります。

7 採用

- (1) 最終合格者は、試験区分ごとに作成する警察官採用候補者名簿に得点順に記載されます。
- (2) 人事委員会は、任命権者(警察本部長)からの請求に基づいて名簿から得点順に提示し、その中から採用者が決定されます。
- (3) この名簿からの採用は、原則として平成24年4月1日で、名簿の有効期間は原則として1年間です。
- (4) 平成24年3月31日までに大学を卒業する見込みで受験した人については、同時期までに卒業できなかった場合は採用されません。
- (5) 採用が決定した人は、巡査に任命され、警察学校に入校し、所定の初任教養を受けた後、勤務地に配置されます。

8 給与及び待遇

- (1) 平成23年4月1日採用の人の給料は、おおむね次のとおりでした。
 大学卒 197,200円（警察学校入校時）
 上記のほか「職員の給与に関する条例」の規定に基づく扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等の諸手当が支給されます。
- (2) 年次有給休暇は1年につき20日（採用年は4月1日の採用の場合15日）あり、このほか特別休暇等があります。
- (3) 公務上の災害を受けた場合には補償されます。

9 試験成績の提供

希望者には、試験成績を提供します。

なお、電話、はがき等による請求はできませんので、受験者本人が、本人であることを証明する書類（運転免許証、健康保険の被保険者証、学生証等）を持参のうえ、人事委員会事務局へお越してください。

（窓口で受験番号をお伝えいただきますと、お待ちいただく時間が短縮されます。）

請求できる人	提供内容	提供期間及び時間	提供場所
第1次試験の受験者	受験者本人の第1次試験の試験種目毎の得点、総合得点及び総合順位	合格発表日から1年間 午前8時30分から午後5時15分まで （ただし、土・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び年末年始を除きます。また、合格発表日のみ午前9時からとなります。）	人事委員会事務局
第2次試験の受験者	受験者本人の第1次試験と第2次試験の試験種目毎の得点、総合得点及び総合順位等		

◎ 別表 1 体力試験基準

試験種目	基準		
	男性	女性	
体力試験Ⅰ	握力	左右平均40kg以上	左右平均25kg以上
	上体起こし（腹筋）	30秒で20回以上	30秒で15回以上
	反復横とび	20秒で40回以上	20秒で35回以上
	立ち幅とび	200cm以上	150cm以上
	腕立て伏せ	15回以上	5回以上
体力試験Ⅱ	20mシャトルラン*	55回以上	35回以上

○ 体力試験Ⅰの5種目のうち2種目以上で基準未満の場合は、不合格となります。

○ 体力試験Ⅱで基準未満の場合は、不合格となります。

○ 上記の基準を満たした受験者は、各試験種目の結果に応じて配点されます。

* 20mシャトルランは、だんだん早くなる電子音に合わせて往復走を行い、持久力を測定するものです。

◎ 別表 2 身体検査基準

検査項目	基準	
	男性	女性
身長・体重	おおむね160cm以上、おおむね47kg以上	おおむね155cm以上、おおむね45kg以上
胸囲	おおむね78cm以上	
視力	両眼とも裸眼で0.6以上又は矯正視力1.0以上	
色覚	職務遂行に支障がないこと	
聴力	正常であること	
その他	職務遂行に支障がない身体的状態であること	

○ 上記身体検査基準は、すべての試験区分において、性別ごとに適用されます。

また、第2次試験の身体検査においては、上記項目のうち、身長、体重、胸囲（男性のみ）について検査し、その他の項目については医療機関等において検査した診断書の提出を求めます。

◎参考（試験問題例等）

○ 教養試験（試験問題例）

(1) 2008年に発生した金融危機の各国経済への影響に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. アメリカでは、深刻な不況となり、経営不安に陥った金融機関に対する公的資本注入が行われた。また、市場への資金供給を増やすため、事実上のゼロ金利政策が採られた。
2. 中国は、金融危機とそれに続く世界的な不況の影響を特に強く受けた。政府は不況対策として大規模な財政出動を行ったが効果はほとんどなく、2009年の実質経済成長率はマイナスに転じた。
3. 日本では、輸出が激減して不況に陥り失業率も上昇した。政府がプライマリーバランスの黒字化を最重要課題とし財政出動を行わなかったこともあり、景気は更に悪化した。
4. ロシアは、金融危機と同時期に高騰した原油価格がその後高値で安定したため、世界同時不況下にもかかわらず実体経済は好調で、2009年においても実質経済成長率はプラスを維持した。
5. ヨーロッパでは、イギリス、フランス、ドイツなど西欧諸国で金融危機による影響が深刻であったのに対し、中・東欧諸国は金融危機の影響をあまり受けず、実質経済成長率はプラスを維持した。

(正答 1)

(2) 太陽の南中に関する次の文中のア、イに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

山口県の下関市は北緯34度、東経131度付近に位置しており、新潟県の新潟市は北緯38度、東経139度付近に位置している。

この2都市において、同じ日に太陽の動きを観察すると、下関市の方が新潟市に比べて、南中高度は 高く、南中時刻は 。

- | | ア | イ |
|----|-----|--------|
| 1. | 約4度 | 約16分早い |
| 2. | 約4度 | 約32分遅い |
| 3. | 約4度 | 約48分遅い |
| 4. | 約8度 | 約32分早い |
| 5. | 約8度 | 約48分遅い |

(正答 2)

(3) あるマラソンコースを、A～Eの5人が互いに少しずつ異なる時刻にスタートして、ゴール地点まで走った。これについて次のことが分かっている。

まず、Aが1人を抜いた。
次に、Bが1人を抜いた。
次に、Cが2人を抜いた。このとき抜いた2人のうちの1人はDだった。
そのままの状態でもゴールし、Eは3番目にゴールした。

これら以外には抜いたり抜かれたりしなかったとし、また、ゴールした時刻も互いに異なっていたとすると、正しく言えるのはどれか。

1. Aは、4番目にスタートした。
2. Bは、2番目にスタートした。
3. Cは、5番目にスタートした。
4. Dは、1番目にスタートした。
5. Eは、3番目にスタートした。

(正答 4)

○ 論文試験課題（平成22年度課題）（600字）

「犯罪に強い地域社会を実現するため、その一翼を担う交番・駐在所の在り方について、あなたの考えを論述してください。」

「我が国では、高齢化が進展していますが、これに伴う警察の役割について、あなたの考えを論述してください。」

「県民の防犯に対する意識を一層向上させるためには、警察、地域を含め社会全体でどのような取組みを行うべきか、あなたの考えを論述してください。」

○ 集団討論課題（平成22年度課題）

「警察官としてあるべき姿について」 「自転車事故の防止対策について」 「防犯に関する意識付けについて」

「治安回復対策について」 「警察学校における集団生活について」 「交通事故抑止対策について」

「暴力団対策について」 「家庭内暴力への対応について」

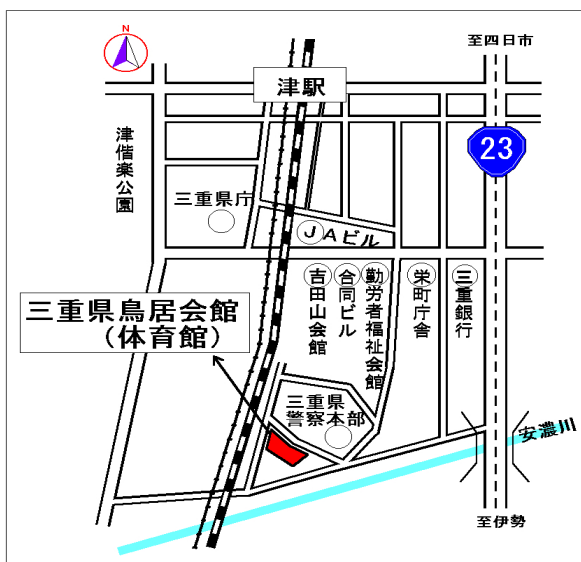
◎ 受験上の注意事項（持ち物等）

- (1) 第1次試験（第1日目）には、受験票（写真貼付必要）、筆記用具、運動ができる服装（ジャージ可）、体育館用運動靴、下足を入れる袋を持参してください。（あらかじめ「運動ができる服装」を着用し、会場までお越しただいても結構です。）
- (2) 第1次試験（第2日目）には、受験票（写真貼付必要）、筆記用具（HB又はBの鉛筆数本、黒のボールペン、消しゴム）、スリッパ、下足を入れる袋、時計を持参してください。
- (3) 携帯電話等は試験会場に入る前に必ず電源を切ってください。
- (4) 第1次試験（第2日目）の会場に冷暖房設備はありません。服装は特に指定しておりませんので、過ごしやすい服装でお越しください。
- (5) 試験会場への車の乗入れ及び試験会場周辺への駐車はできません。駐車が発見された場合は、以後の受験を認めないことがあります。必ず公共交通機関を利用してください。
- (6) 第1次試験（第2日目）の試験会場（県立津工業高等学校）は、敷地内全面禁煙となっています。

◎ 試験会場案内図

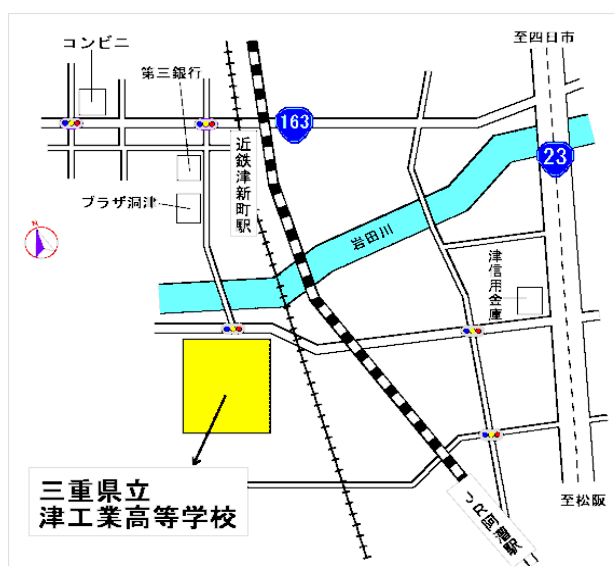
三重県鳥居会館（体育館）

【JR・近鉄津駅より徒歩約15分】



県立津工業高等学校

【近鉄津新町駅より徒歩約10分】



◎この試験に関する問い合わせ先

○ 三重県人事委員会事務局

〒514-0004 津市栄町1丁目891（三重県勤労者福祉会館4階）

TEL 059-224-2932

三重県ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/>

（三重県職員採用案内ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/saiyo>）

○ 三重県警察本部警務部警務課採用係

〒514-8514 津市栄町1丁目100

TEL 059-222-0110（内線2644）

三重県警察ホームページ <http://www.police.pref.mie.jp/>